

平成 24 年度離島漁業再生支援交付金による取組概要

1. 集落協定の概要

都道県名：鹿児島県

市町村名：南種子町

協定締結集落名：南種子集落

交付金額：7,752千円

協定参加世帯数：57人（うち漁業世帯57人）

2. 協定締結の経緯

南種子町は三方を海に囲まれ優良な漁場が多く、これまで漁業世帯個々が海域環境の管理を行っている現状にあったが、近年水産資源の減少や魚価の低迷、また漁業者の減少や高齢化等の課題を抱えているため、水産資源の豊富な優良漁場の形成や、魚価の安定化を図ることなどを目指して、離島漁業再生支援交付金による漁業再生活動に取り組むこととした。

3. 取組の内容

漁場の生産力の向上に関する取組状況

近年、魚介類の漁獲量が減少している状況のため、カナコ籠・イカ柴の投入によるイカの産卵場・育成場の整備やマダイ放流、サメ駆除、漁場監視など資源管理等漁場の生産力の向上に関する取組を実施することにより、地域漁業の活性化を図ることを目指して離島交付金による漁業再生活動に取り組むこととした。

また、海岸に流木・ローブ等のごみが漂着し、海岸線の環境が悪化しているため、14ヶ浦の海岸清掃を行い環境保全に努めた。

集落の創意工夫を活かした取組状況

今後の漁具漁法の普及を図るため、「メカジキ漁具」「立て網」の操業と「ジャンボ曳き縄」による操業を昨年引き続き実施した。

また、魚食普及の活動として、公共施設（保育所等）への加工品の提供を行い、普及促進に努めた。

4. 取組の成果

イカの産卵場・育成場の整備事業については、前年度投入したカナコ網の引き上げを行ったところ、場所によるばらつきはあるものの産卵の痕跡が多数見られた。マダイ放流に

については、東海岸側で実施し、合計で 14,000 尾の放流を実施した。今後の漁獲量の増加に期待ができるものと思われる。

漁場監視作業やサメ駆除を実施し合計 92 匹のサメを駆除した。海岸清掃については、漁協組合員等にも声かけを行なって実施し、海岸の環境保全に努めた。

新たな漁具・漁法の導入に向けて、「立て網」・「メカジキ漁業」・「ジャンボ引き縄」の操業を実施したが思うような結果は得られなかった。

また、新たな取り組みとして加工品を試験作として作り、公共施設（保育所等）への配布を行った。色々な話し合いや取り組み方法について再度検証し、今後を活用していけるものと期待が持てる。